

令和元年第2回龍ヶ崎地方衛生組合管理者等会議（抜粋）

と き 令和元年10月4日（金）午後2時
ところ 龍ヶ崎地方衛生組合会議室

1. 管理者等会議出席者名簿

中山 一生	管理者（龍ヶ崎市長）
根本 洋治	副管理者（牛久市長）
佐々木 喜章	副管理者（利根町長）
雑賀 正光	副管理者（河内町長）
笥 信太郎	副管理者（稲敷市長）
中島 栄	副管理者（美浦村長）
千葉 繁	副管理者（阿見町長）
吉田 宜浩	会計管理者

1. 代理出席者

川田 清	取手市まちづくり振興部長
------	--------------

1. 事務局

荒井 久仁夫	事務局 長
杉山 晃	事務局 次長
風見 光三	総務課 長
木村 哲	施設課 長
丘野 富雄	施設 長
木村 浩晶	総務課長補佐
根本 成壽	総務課長補佐
浅野 大樹	総務課係長

○荒井事務局長 ただいまより龍ヶ崎地方衛生組合管理者等会議を開催いたします。

まず初めに、中山管理者よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。

○中山一生管理者 龍ヶ崎地方衛生組合の管理者会の皆様におかれましては、日ごろから当組合の運営に大きなお力をいただいておりますことを感謝申し上げますとともに、本日も大変お忙しい中、ご出席を賜りましてまことにありがとうございます。

また、先日行われました牛久市長選挙においては、見事当選をされ、きのうが任期スタートということではありますが、また改めて当組合の副管理者としてきょうもお越しいただ

きました牛久市長の根本洋治さんでございます。本当におめでとうでございます。

○根本洋治副管理者 ありがとうございます。

○中山一生管理者 きょうの項目にも一つ入っているんですけども、3組合の統合の話、以前させていただいたところでございますが、その件について、きょうは次第に項目ございますが、昨日、3組合経営検討委員会、各自治体の企画・財務部門の担当者の出席をいただき、3組合の幹部と検討委員会の第1回目を開催いたしました。

その際に、私の思いを冒頭で、十二、三分かな、ちょっと長く、余計な話も含めてお話しをさせていただいたんですが、この統合は、やはり3組合の経営の効率化向上はもちろんですし、各自治体の負担も大変厳しい財政状況の中ですので、少しでも軽減できればという思いでスタートしているわけですけども、将来的には、やはりこのエリア、これからのこの圏域をどのようにしていくかということを考えるには、その苗床になるような将来を見据えていく受け皿になる組合にしていかなければならないという思いをお伝えさせていただいたところでもございます。

今、衛生と消防に関しましては、7自治体、8自治体ということで行っているわけですが、例えば、今塵芥も入っていますので、塵芥処理組合は入っておりますけれども、ごみ処理施設だけでも、このエリアの中には4施設あるわけでもございますので、それも今、長寿命化などもあって、まだ15年程度の猶予はあるとは思いますが、今後このままの形でやっていくべきなのかどうなのかというのは、やはりこのエリアの中で今後検討する課題が出てくるのではないかなと思います。

そんなときに、この複合化をした組合がそのための一つの受け皿としての役割を果たしていけるような、そのような実態に伴った組合にしていければという思いもございますので、ぜひ改めまして、各自治体の担当者の皆様には、その思いを伝えていただいた上で、この3組合の統合についても、引き続き管理者会の皆様のご協力をお願いをしたいと思います。

それでは、議題の提案理由の説明を簡単にさせていただきます。

協議事項1でございますけれども、開催予定の令和元年第1回組合議会定例会の提出予定の案件についてご協議いただきます。

今回の議案は、まず特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正と経費関連が4件ございます。

次は、平成30年度の一般会計歳入歳出決算についてで、決算については、去る8月27日に監査委員の審査を受けたものです。

次に、令和元年度一般会計補正予算（第2号）、これは、今回の補正は予算の総額に歳入歳出それぞれ17万1,000円を追加するものです。

その次が、令和2年度龍ヶ崎地方衛生組合分賦金割合についてです。この件については、新年度予算編成に当たり決定をいただきたいと考えております。

続けて、協議事項2のほうですが、龍ヶ崎地方衛生組合公平委員の選任についてご協議をいただきます。こちらは、来年2月定例会の人事案件となります。

次に、協議事項3といたしまして、先ほどの挨拶でも申し上げましたとおり、前回の管理者等会議でもご協議いただいた龍ヶ崎地方衛生組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合、龍ヶ崎地方塵芥処理組合の複合化、統合についての現在までの取り組み状況と事務局から説明がありますので、その後またお時間をいただいて、ご意見などをいただければと思いますので、今後の進め方も協議をいただきたいと思います。

議案等については、詳細は事務局から説明をさせますので、皆様には慎重審議をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

〔途中省略〕

○中山一生管理者 それでは続きまして、協議事項3の3組合の統合（複合化）に向けた取り組みについての状況についてです。

この件に関しては、冒頭でもご挨拶で申し上げましたが、具体的に研究と協議を進めていくということで、前回の管理者等会議の中で皆様にもご了承をいただいたところでございます。

本日は、前回の会議から現在までの取り組み状況について、事務局から説明の後、ご協議をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○荒井事務局長 それでは、3組合の統合に向けましたこれまでの取り組み状況につきまして説明させていただきます。

参考資料の4をごらんいただきたいと思います。

7月5日の管理者等会議での決定を踏まえまして、その後、早速3組合で協議を重ねながら、当面の取り組みといたしまして、事務レベルでの準備行為に入ったところです。

(1)の3組合それぞれの課題の抽出、整理等、その情報を3組合で共有することからスタートいたしまして、(2)3組合と構成市町村で協議検討を行う組織を設置するための要綱の整理、(3)中山管理者による3組合の全員協議会等での市町村議員さんへの説明、龍ヶ崎市出身の県議会議員さんへの説明、(4)構成市町村の企画・財政担当部門への説明を行ったところです。

そして、(5)です。9月6日に3組合の幹部会議を開催いたしまして、10月1日に初会合となる稲敷・龍ヶ崎地方3組合経営検討委員会の開催に向けまして、議事や提出資料、会議の進め方等につきまして最終確認を行いました。その会議終了後、構成市町村に開催通知をお届けいたしまして、10月1日の第1回の会議開催に至ったところでございます。

その会議では、冒頭で中山管理者からご挨拶をいただきまして、3組合の統合、複合化に向けた所信表明があったところでございます。

議事は、3組合に対する理解と認識を市町村職員に深めていただくため、3組合からそれぞれの現状、課題をご説明し、ご質問やご指摘等をいただきながら、率直な意見交換を

行ったところですが、その概要ですが、本日お配りいたしました参考資料の6をごらんいただきたいと思います。

そのやり取りにつきましては、この3枚1組になっておりますけれども、2枚目以降に記載しているところです。委員さんからいただいた、各市町村の職員の方からいただいた提案、ご意見等を申し上げます。

まず、1点ですが、構成市町村がかかわっている組合には、この3組合のほかに、稲敷市、美浦村で構成している江戸崎地方衛生土木組合等を初め、牛久市、阿見町で構成している牛久市・阿見町斎場組合があります。また、阿見町のように単独で塵芥処理を行っているところもあるが、今回の統合、複合化は、稲敷広域、塵芥、衛生の3組合の枠組みを変えずに複合化を協議するという考え方なんでしょうかという、まず最初のご確認の質問がありました。

また、ご意見等といたしましては、塵芥処理施設を運営しているところでは、耐用年数や更新時期を控えており、この3組合での枠組みを前提に統合、複合化するとすると、塵芥処理施設を抱える他の自治体では、将来を見据えた動きが制限されてしまう、塵芥はそれぞれが更新時期を控えており、塵芥の広域化はメリットがある、龍ヶ崎市以外の市町村にメリットがあるのか違和感を感じる、他市町村が抱えている課題も吸い上げ、全体を見据えて進めていただきたい、そして、最初から塵芥の広域化まで捉えて進めるとまとまらなくなる可能性がある、まずはできるところから進めていく考えもありますよねといった、主に将来に向けた検討の進め方についてご意見をいただいたところでございます。

以上です。

○中山一生管理者 今、10月1日の会議についての説明も含めて説明がございました。

これらについて、何か皆さんからご意見ございますでしょうか。

各自治体の職員さんからいろいろなご意見をいただいたところですが。

○中島 栄副管理者 美浦村が結構いろいろなことを言っているなど。

○千葉 繁副管理者 結構厳しいご質問じゃないんですか。

○中山一生管理者 確かに、ごみ焼却施設の問題というのは、これはもう地域の問題、各自治体単独で考えていく時代では、だんだんもうこれから、もう既にないのかもしれませんけれども、そんな気がいたしますので、ここにも耐用年数が書いてあるんですが、長寿命化が終わったところが多いですし、あとは新設のところもありますので、少しまだ猶予があるとは言いながら、あつという間に10年ぐらいたってしまいますので、次の世代に向けて、この枠組みができた中で、各自治体の管理者も含めて、事務局含めた中で検討していくことができる受け皿になるのではないかなというふうに考えておりますので、ぜひこのような形で、実のある新しい複合の事務組合をつくっていただければと思います。

ただ、一部事務のほう、暫定的には三つの一部事務を担う組合になるわけですが、将来はもっともっと各自治体の事業の負担を軽減できるような組合になっていくことが、

そういう可能性を秘めているのではないかと思いますので、ぜひこの件に関しましては、引き続き皆さんからご意見をいただきながら進めたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

○中島 栄副管理者 利根と河内は余り意見出さないんだけど。

○中山一生管理者 本当に一体となってやっていけば、いろいろ可能性も広がると思いますので。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中山一生管理者 それでは、引き続いて会議など、議論を深掘りしながら、この件については前向きに進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○荒井事務局長 先ほど、参考資料5といたしまして稲敷・龍ヶ崎地方3組合経営検討委員会の協議事項の予定ということで、今後の大ざっぱですけれども、5年先で大体記載されておりますけれども、協議事項、協議内容、概要等を掲載させていただきましたので、よろしくお願いいたします。

○中島 栄副管理者 5年先なんて言わないで早く。5年先、生きている人いない。

○中山一生管理者 そうようなご意見もありますけれども、あと、プラス最後に、議会の議決をいただくというようなプロセスもありますので、各自治体の全議員さん、組合議員さんはもちろんなんですけれども、それぞれの議員さんに……。

○中島 栄副管理者 各市町村の議会議決も必要になってくるので。

○中山一生管理者 はい、その辺もご協力よろしくお願いします。

とりあえず、これは案ということで。

○荒井事務局長 あくまでも参考ということで。

○中山一生管理者 よろしくお願いします。

その他に、まだ事務局から案件があるそうですので、簡潔にお願いいたします。

〔以下省略〕